

小学校・第5学年・家庭科・題材名「めざせ！いきいき食生活」 内容「B衣食住の生活」(1)ア, (3)ア(ア) (イ) (ウ) ②

題材のねらい

栄養を考えた食事について、課題をもって、健康な体を保つために必要な栄養素の種類とその主な働き、食品の栄養的な特徴及び1食分の献立作成に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、いろいろな料理や食品を組み合わせるとの必要性について理解することができる。

生活の課題
発見

解決方法の
検討と計画

課題解決に向けた
実践活動

実践活動の
評価・改善

家庭・地域
での実践

ICT活用のポイント

- ICT端末を活用し、「栄養を考えた食事」について、料理や食品を組み合わせを試行錯誤しながら、栄養のバランスのよい食事について考えることができるようにする。
- 全体で献立の交流の場面において、全体で情報を共有することで、各自の思考の過程を視覚化しやすくする。

事例の概要

- 題材における学習課題は「健康を保ち、体を成長させたり、活動したりできる1食分の食事を考えられるようになる」である。
- 栄養のバランスのよい1食分の食事となるように、学校給食のメニューを基にごはんとみそ汁に合わせる主菜と副菜を選択して献立を考え、その工夫を学び合う。

小学校・第5学年・家庭科・題材名「めざせ！いきいき食生活」 内容「B衣食住の生活」(1)ア, (3)ア(ア) (イ) (ウ) ②

【自分のペースでの試行錯誤】



【ICTを活用するメリット】

・主菜・副菜となる学校給食の写真をクラウド上に保存しておくことで、児童が試行錯誤できる。



【ICTを活用するメリット】

・各自が考えた献立画像を保存し、それを共有することで、友達と比較しながら互いの考えの根拠や工夫を認め合うとともに、献立の改善に生かすことができる。



【記録を基にペアでの考えの交流】



【ICTを活用するメリット】

・各自が改善した献立をクラウド上に保存しクラス全体で共有することで、考えを深めることができる。
・大型提示装置を活用し、拡大や焦点化することによって、効果的なプレゼンテーションをすることができる。
・児童一人一人の手元でもその様子を確認することができる。

【改善記録を基に、全体での交流】



【活用したソフトや機能】

写真・動画撮影機能, プレゼンテーションソフトのファイル共有機能